

農作業中の熱中症対策について

毎年、全国では約 30 名の方が農作業中の熱中症により死亡しています。

熱中症の正しい知識を身につけ、農作業中の熱中症を予防するよう農業者に指導願います。

農作業中の熱中症予防のポイント

- (1) 日中の気温の高い時間帯を外し作業を行う。
- (2) 帽子・熱を逃しやすい衣服の着用や保冷剤等により体を冷やす。
- (3) 屋内の作業では必要に応じ送風機などを利用する。
- (4) のどが渇く前に、こまめに水分や塩分を補給する。
- (5) 作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて体調確認を行う。
- (6) 暑さに関する情報（気温、湿度、熱中症警戒アラート、暑さ指数：WBGT）を確認する。



20 分おきに毎回
コップ1~2杯
を目安に水分補給



熱中症警戒
アラート
(環境省 LINE)



富山県の暑さ
指数
(環境省 HP)

熱中症が疑われる場合の処置方法

その1 体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断する

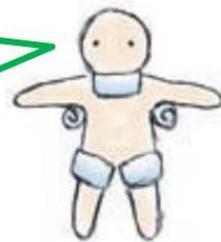


熱中症による代表的な症状

その2 応急処置を行う

- ・(日陰などの) 涼しい場所へ避難する。
- ・服をゆるめて風通しをよくする。
- ・水をかけたり、扇いだりして体を冷やす。
- ・水分や塩分を補給する。

脇の下、両側の首筋、足の付け根を冷やすと効果的です



その3 病院で手当を受ける

意識がない場合や自力で水が飲めない場合は、速やかに病院で手当を受ける。

令和7年6月1日から**労働者への熱中症対策が義務化**されました

労働者を雇用する事業者は、

✓ 早期発見のための体制整備

✓ 重篤化を防止するための措置の実施手順の作成

を行い、その内容を関係作業者に周知するよう義務付けられます

農業経営の維持・安定のためにも、熱中症対策を徹底しましょう。

～農業者の安全確保は、「とやま GAP」の取組の大きな柱のひとつです～